

「持続可能な地域社会の構築を目指して
～能代の農業・洋上風力発電事業についての報告及び意見交換・講評会～」のご案内

- 1 目的 能代市と総合地球環境学研究所との間で過去6年間締結されてきた包括的連携協定に基づく、持続可能な地域づくりを目指した地域産業・資源・文化・学術・教育分野等における交流活動のうち、能代市の農業及び洋上風力発電分野についての活動・事業報告及び意見交換、山極壽一所長による講評・助言を通じて、環境問題に対応した循環型社会の形成等持続可能な地域社会の構築を目指す上での諸課題及び今後の展望を能代市の関係者間で共有することにより、次世代により良い未来を残すための契機とする。
- 2 日時 令和6年7月12日（金）9：30～11：30
- 3 場所 能代市役所大会議室（定員100名）
- 4 報告者 秋田県立大学 特別研究員 谷口吉光 氏
能代市役所環境産業部エネルギー産業政策課係長 小林淳 氏
- 5 意見交換 「持続可能な地域社会の構築のためには何が必要か？～能代の農業と洋上風力発電事業の課題と展望～」
 - (1) 農事法人・農業事業者
農事組合法人アグリ檜山 代表 山崎和博 氏
合同会社農園晴晴 代表 齊藤洋晃 氏
檜山茶保存会会長 梶原啓子 氏
 - (2) 洋上風力発電事業者
秋田洋上風力発電株式会社 代表取締役社長 井上聡一 氏
ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社
地域共創推進部 事業推進チーム チームリーダー 関谷努力 氏
- 6 講評 大学共同利用機構法人 人間文化研究機関 総合地球環境学研究所
所長 山極壽一 氏

講評者紹介:1952年(昭和27年)東京都生まれ。日本の人類学者(人類学・生態環境生物学)、霊長類学者。理学博士(京都大学1987年)。京都大学霊長類研究所助手、京都大学大学院理学研究科教授、京都大学大学院理学研究科研究科長、京都大学理学部学部長、京都大学名誉教授、第26代京都大学総長、第26代一般社団法人国立大学協会会長、第29代日本学術会議会長などを歴任現在、第4代総合地球環境学研究所所長

- 7 参加者 能代市自治会連合協議会中央部会参加希望者
能代市役所参加希望者
能代市議会議員参加希望者
一般市民参加希望者

8 次 第

- 9 : 3 0 ~ 1 0 : 0 0 報告 1 : 「総合地球環境学研究所FEASTプロジェクト
能代市における持続可能な食の消費と生産を実現するライフ
ワールドの構築～食農体系の転換に向けて～」(30分)
- 1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 1 5 意見交換～能代の農業の課題と展望～(15分)
農業法人アグリ檜山代表 山崎和博 氏(5分)
合同会社農園晴晴代表 齊藤洋晃 氏(5分)
檜山茶保存会会長 梶原啓子 氏(5分)
- 1 0 : 1 5 ~ 1 0 : 3 5 講評：総合地球環境学研究所所長 山極壽一 氏(20分)
- 1 0 : 3 5 ~ 1 0 : 4 0 休憩(5分)
- 1 0 : 4 0 ~ 1 0 : 5 5 報告 2 : 「エネルギーのまち能代～洋上風力発電の現状と展
望～」(15分)
- 1 0 : 5 5 ~ 1 1 : 0 5 意見交換～能代の洋上風力発電事業の課題と展望～(10分)
秋田洋上風力発電株式会社代表取締役社長 井上聡一 氏
(5分)
ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社 地域共創推進部
事業推進チーム チームリーダー 関谷努力 氏(5分)
- 1 1 : 0 5 ~ 1 1 : 2 5 講評：総合地球環境学研究所所長 山極壽一 氏(20分)
- 1 1 : 2 5 ~ 1 1 : 3 0 閉会挨拶：秋田県立能代高等学校校長 平川研(5分)

☞申込み 右のQRコードからGoogleformにお進みいただき、
必要事項をご入力いただくか、担当までお電話
ください。

【担当】秋田県立能代高等学校
Will Project II委員会 柳谷麻理子
TEL 0185-54-2230(9:00～16:00)

☞締 切 令和6年6月28日(金)まで



